

金属団地ニュース





6月度月例会開催

6月21日(月)正午より組合研修センター3階集会室にて6月度月例会を開催しました。

中小企業の特許・商標等の知的財産に関する基礎知識や事例などを、INPIT岐阜県知財総合支援窓口相談対応者 西脇 吉徳様にお越しいただき『知的財産とは』と題しご講演いただきました。

知的財産戦略における権利化か秘匿化の判断基準は、他人が到達できない発明か、まねされても容易に発見できるものかが一つのものさしになり、特許権と営業秘密の特性を考慮した活用が必要とのことです。また営業秘密情報を管理しリスト化するなど、秘密管理措置についても具体例をあげてお話ししていただきました。

INPIT(インピット)は特許庁と連携しながら、知的財産活用を支援する公的機関です。権利侵害や重複研究の回避や研究開発のヒント等々サポートしていただけますので是非ご相談ください。



金属団地60周年記念誌制作

東海地方では5月16日に梅雨入りが発表され統計史上2番目の早さとなり、逆に関東甲信地方では6月14日に梅雨入りし、ここ10年で一番遅い梅雨入りでした。

今から60年前の昭和36年6月24日～7月10日に北海道を除く全国各地で大雨が降り、死者・行方不明者357名の甚大な被害をもたらした災害は「昭和36年梅雨前線豪雨」と命名されています。

そんな折、金属団地60年間の記録を、記念誌委員と青年部会員それぞれで過去の写真や団地ニュース等を紐解き記念誌づくりに奮闘しております。集合写真や座談会の準備運営に至るまで手作業の占める割合が多くなることが予想されますが、題字や詩を組合員従業員に募集するなどして、皆様に関心を持って読んでいただけるよう鋭意制作中です。





えらいこっちゃ!!

2021年も気が付けば半年が過ぎようとしています。昨今の頃は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発出され、今後、私たちの生活はどうなっていくのか全く先が読めず、不安な日々を過ごしていました。現在は、ワクチン接種も順調とは言えないまでも高齢者を中心に広がりを見せています。東京オリンピックもこの記事が掲載される時期には行われているのでしょうか。私たちの生活環境も、日々変化を実感出来る様になってきました。

ところで、我々物作り産業にとっても大変な1年でありました。リーマンショック以来の売り上げの落ち込みは、金属団地の社長さんの肩に重く押し掛かり、会社の存続と社員の生活を守るべく翻弄された事と思います。そして2021年が幕を開けましたが、新たな問題が我々を苦しめています。

それは、原材料の高騰という新たな敵の出現です。2020年の年末に向けてじわじわと上がり始めたスクラップ価格は、12月1か月で20%の価格高騰を記録しました。その原因が分からないまま年を越したら、中国から鋳物製品価格の10%値上げ要求が突き付けられました。中国国内の原材料価格が高騰しているのは薄々気付いていましたが、新年早々のご挨拶としてはインパクトが有りすぎます。調べてみたらいろんな事が判ってきました。

そもそも、この発端は米中の関税引き上げ合戦と豪中の経済制裁と環境問題が大きく関わっていることが判ってきました。中国の鉄鋼業は、国内の鉄鉱石の含有量が低いため、オーストラリアから鉄鉱石と石炭を輸入して生産効率を上げ、粗鋼生産量を引き上げてきました。しかし、昨年オーストラリアへの経済制裁の一環として鉄鉱石と石炭の輸入規制を引くと同時に環境問題にからめ高炉から電炉へ転換の方向に方針が変わりました。これにより原材料は鉄鉱石からスクラップにスライドし、中国国内の発生では賄いきれなくなり、補給先として日本のスクラップがターゲットになりました。その方向性が明らかになったのは、5月1日に改定された税制改正にスクラップの輸入関税が撤廃され、鋼材の輸出を奨励する為の増徴税の還付の割合が引き下げられています。

そんな時期にある商社からどうしても会って欲しい人がいると言われ、面談した彼は中国商社の社長でした。彼曰く、今後日本で副資材を販売していきたいとの事でしたが、話をしているとそれほど近々の様に思えないので“本当の目的はなんだ”と問質したところ、“実はスクラップを1万トン買いに来ました”と白状しました。更に“今日は港のヤードの契約をし、2か月くらいストックすると儲かります”と言い放った。中国人は商魂が逞しいとつくづく思いました。

5月に入り、中国の鋳物メーカーから更に10%の値上げ要求が出され、要求が通らない様であれば生産を一時停止するという強硬な物でした。結局、ほぼ満額回答で要求を呑まざるを得ませんでした。大きな歪みを生みました。一部では、国内と輸入品の単価逆転が起こり、今後の調達の見直しに大きく影響を与えます。

しかし、価格上昇はもはや鉄源だけの問題ではなく、木材や周辺部材にも広がりを見せています。現状では価格ではなく、調達できるかどうかの問題に移行しています。この状況で我々経営者は、何を考え、どう行動するかによって今後の展開が大きく変わります。

行動するかしないかは、あなた次第です。

タンパク

オーダーメイドの生産設備

株式会社 三機 岐阜工場

株式会社 三機 岐阜工場では専用機と呼ばれる特注の自動生産設備を設計・製作しています。

メーカー各企業様では、製品および生産量そして生産方法等が異なります。つまり製品を製造する設備への要求もお客様ごとに異なります。三機ではお客様ごとに異なる生産設備に対する要求を実現することを業務としています。

弊社の工場には機械設計・電気設計・機械組立・電気配線およびパソコン・マイコンのハード・ソフトを設計する各部門があり、各々の専門技術・技能を組み合わせお客様ごとの設備を設計・製作しています。(われわれは一品料理と呼んでいます)



工場外観



設計室

主要客先は自動車部品メーカー様です。自動車業界では100年に一度の変革期と言われ、CASE(接続性、自動運転、共有、電動化)およびMaaS(移動サービス)との言葉で代表される様に変化の真最中です。あらたな技術・製品が求められ、生産設備立上げの期間も大幅に短縮される状況となっています。われわれ三機 岐阜工場でも、この自動車部品メーカー様の要求に応えるべく、チャレンジの日々を繰り返しています。

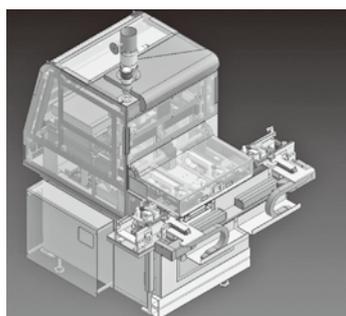
三機の得意とする専用機は組立および検査装置です。自動車部品はより小型化・高精度が求められるようになり、複雑な組付け工程が多くなっています。また自動組立工程の後には、必ず検査・チェック工程があります。検査する内容も単純な寸法測定から視覚検査まで様々な内容となり、日々新たな課題に取り組み、過去の経験と新たな知識の組合せが必要となります。

最近ではAI外観検査と協働ロボットの活用に入れています。AI技術は各分野で活用され始めており、生産設備の分野でも注目を集めています。従来は人の目視での検査をAIにより自動化が可能となります。もう一つが人と協調して働くロボットの活用です。既に産業用ロボットは一般化しましたが、今後は人と隣り合って働くロボットが主流となりつつあります。

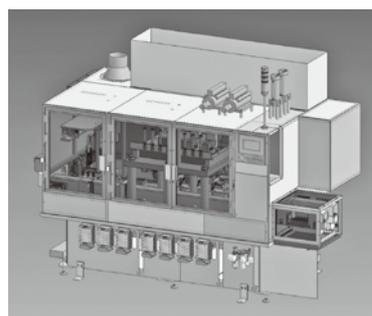


工場(現場調整)

三機の岐阜工場では変化の激しいFA分野での技術に対応するとともに、培って来た確実な設備づくり品質により、お客様に満足して頂ける専用機の製作・供給を心がけ日々の業務に励んでいます。



事例：はんだ付装置



事例：インジェクタ検査装置



青年部勉強会 「ビジネスシーンにおけるゴルフの心得」

2021年6月17日(木)、金属団地組合2階小会議室にて、金属団地青年部の勉強会事業として講演会を実施致しました。前年度はコロナの影響で中止となったため、2年ぶりの勉強会となりました。今年度は「ビジネスシーンにおけるゴルフの心得」と題して、株式会社丹羽組の丹羽様にお越しいただきご講演頂きました。勉強会のテーマであるゴルフは会長たつての希望や私自身まだゴルフを始めて間もなく、知識や技術の習得に加え、仕事での活用法を学びたいと考え決定致しました。丹羽様は現在アマチュアゴルファーとしてプレーされていますが、若い頃プロを目指しておられ、ゴルフに対する見識が広く、また経営にも携わっておられます。その経験からゴルフを始めるにあたり何を準備したらよいかというお話から、ビジネスとの関係に至るまで非常に分かりやすくお話を頂きました。



丹羽様の公演を聞いて一番に感じたことは、ゴルフとビジネスは密接に関係があるということです。例えば、丹羽様はゴルフを通じて知り合えた方々が非常に多く、ひとつの仕事の取っ掛かりから最後の集金にいたるまでゴルフで知り合った方たちのみで完結したり、丹羽様のお父様から丹羽様への人脈の承継もできているそうです。長く続けているとそれだけコミュニティーが広がっていき、ビジネスにも繋がっていくと感じました。

しかし、丹羽様はビジネスで非常に役立つゴルフにも怖いところがあると仰っていました。ゴルフにも経営にもルールがあり、マナーがあります。それをたかがゴルフと考え、軽率な行動をとったことがその人の信用、さらにはその人の企業の信用にまで影響を及ぼす可能性があるということでした。ラウンド中のみならずゴルフ場内の立ち振る舞いの良し悪しがビジネスに直結するため同伴者やキャディーさん、ほかのプレイヤーから常に「見られている」ということを忘れないようにしなければいけないと感じました。今回の講演をきき、仕事や私生活において、きちんとしたルール、マナーを身に付け普段からどこで誰にみられていても恥ずかしくない言動をとるように心がけたいと思いました。



新規高卒採用力“戦闘力”と応募・内定獲得の関係について

先月号では、この春入社した新規高卒社員が、実際にどのような求人情報を提示した企業に就職をしているのかについて述べさせて頂きました。今回は、求人企業の新規高卒採用力を可視化する方法及び戦闘力と応募・内定獲得の関係について述べさせて頂きます。

求人企業の新規高卒採用力を可視化する方法については、昨年の9月号で紹介をさせて頂きましたが、改めて新規高卒求人情報の戦闘力への換算表を表1に掲載させて頂きます。

項目	評価	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 求人票受付番号	10	801～	801～800	701～800	601～700	501～600	401～500	301～400	201～300	101～200	1～100
2 従業員数	10	1～49	50～99	100～199	200～299	300～499	500～999	1,000～2,999	3,000～4,999	5,000～9,999	10,000～
3 初任給	10	～129,999	130,000～139,999	139,000～139,999	140,000～149,999	150,000～159,999	160,000～169,999	170,000～179,999	180,000～189,999	190,000～199,999	200,000～
4 週休二日制	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
5 年休日数	10	～99	100～102	103～104	105～106	107～109	110～111	112～114	115～119	120～124	125～
6 通学	5	—	—	—	—	可	—	—	—	—	—
7 学費補助	10	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	あり
8 寮の整備	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
9 学費指定あり	5	—	—	—	—	あり	—	—	—	—	—
10 2年目の応募率	10	100%	81%～89%	61%～80%	51%～60%	41%～50%	31%～40%	21%～30%	10%～20%	1%～9%	0%
11 1～2年目の応募率	10	100%	81%～89%	61%～80%	51%～60%	41%～50%	31%～40%	21%～30%	10%～20%	1%～9%	0%
12 求人票記述項目	5	20%未満	20%～49%	50%～69%	70%～89%	90%～	—	—	—	—	—
13 求人票記述項目	5	20%未満	20%～49%	50%～69%	70%～89%	90%～	—	—	—	—	—

表1 新規高卒求人情報の戦闘力換算表

表1の換算表は、企業が高校に提出された求人票の12の記載項目について10段階にランク分けし、1～10点で得点化したものです。項目1の“求人票受付番号”は、各高校で求人票を受け付けた時に振る“受付順の番号”で、求人データベースへの登録番号になります。求人票受付番号が若いほど応募・内定獲得の割合が高くなるとの過去5年間の分析結果から、100番以内を10点としています。項目2の“従業員数”は企業固有のもので、49人以下を1点、10,000人以上を10点としています。項目3～11は各企業の戦略により変動するものです。項目12及び13の“求人票記述項目”は、“高校生に仕事内容や教育制度、福利厚生制度等について、いかにして自社の魅力を伝えるか”について採用担当者様が腕を振るわれる(書きぶりを工夫される)項目です。13項目の合計(戦闘力)は100点満点です。

工業高校で生徒たちに長期インターンシップ等の講演をする際には、受験先企業決定のための求人企業“魅力度”チェックシートとして紹介しています。なお、各項目の得点区分については、過去5年間の新規高卒求人企業(延7,000社余)のデータ分析結果から私が(独断で)決めたものです。

以下の図1～図6は、令和2年度に県内工業系高校に求人票を提出された企業(1,370社)の求人情報を新規高卒採用力：戦闘力として得点化し、その得点区分と応募・内定獲得の関係を示すものです。

図1は、各務原市内企業の令和2年度の戦闘力得点区分と応募・内定獲得の関係です。

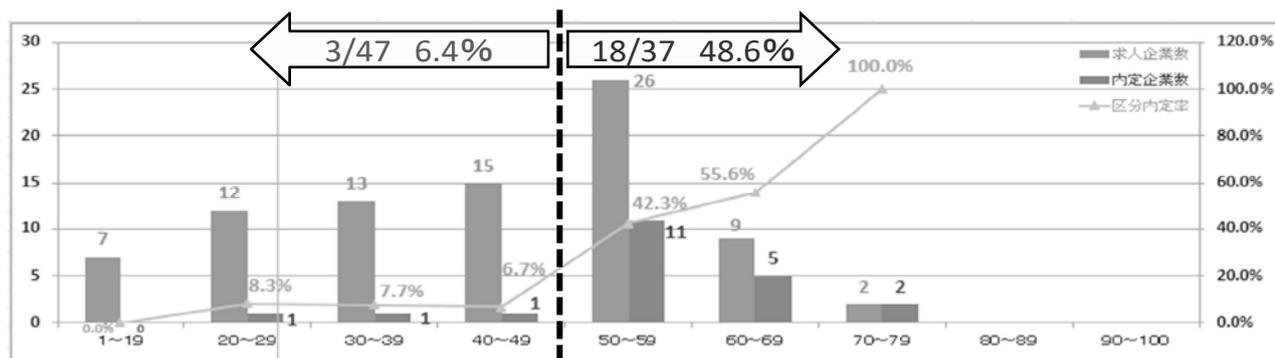


図1 各務原市：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

戦闘力区分が高いほど区分内の応募・内定獲得企業の割合が高くなっています。戦闘力50点以上では、求人企業37社のうち18社：48.6%が応募・内定を獲得しており、市内の応募・内定獲得企業数21社に占める割合は85.7%と非常に高くなっています。

図2は、岐阜地区の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。戦闘力50点以上では、求人企業52社のうち20社：38.5%が応募・内定を獲得、地区の応募・内定獲得企業48社に占める割合は41.7%となっています。戦闘力49点以下では、求人企業207社の内28社：13.5%が応募・内定を獲得していますが、応募・内定獲得の割合は50点以上の1/3となっています。

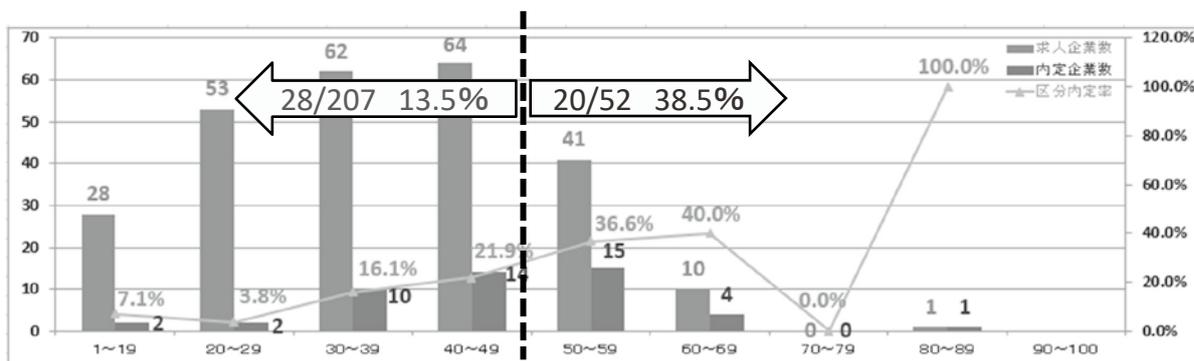


図2 岐阜地区：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

岐阜地区応募・内定獲得企業48社に占める戦闘力49点以下の企業は28社：58.3%あり、戦闘力50点以上の企業より占有率が多くなっています。これは、「通勤時間1時間以内：自宅近くの企業を選択」という生徒の意識からくる“地の利”のアドバンテージが大きく影響をしていると分析しています。

図3は、岐阜県の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。岐阜県全体は、戦闘力：50点以上では、求人企業168社のうち61社：36.3%が応募・内定を獲得しており、内定企業97社に占める割合は62.9%となっています。戦闘力49点以下では、求人企業371社の内36社：9.7%が応募・内定を獲得していますが、応募・内定獲得の企業97社に占める割合は37.1%と高くなっています。これも、“地の利のアドバンテージ”が大きく影響をしていると分析しています。

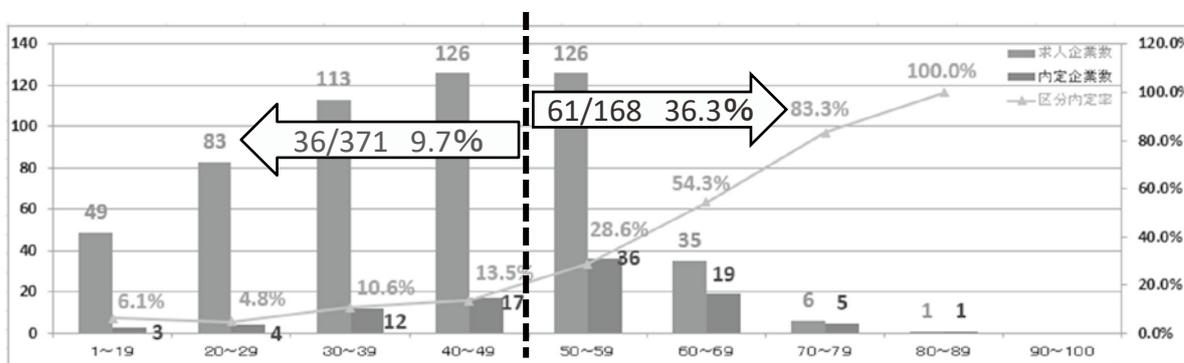


図3 岐阜県：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

図4は、愛知県の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。愛知県は、戦闘力50点以上では求人企業150社のうち48社：32.0%が応募・内定を獲得しており、内定企業53社に占める割合は90.6%と非常に高くなっています。戦闘力49点以下では、求人企業188社のうち5社：2.7%が応募・内定を獲得しています。応募・内定獲得の企業53社に占める割合も9.4%と低い値となっています。愛知県では、戦闘力の高い企業には従業員数が5,000人以上の大企業が多く、“愛知県の企業を選択す

る生徒は大企業志向が強い”との先月号の分析結果とも合致しています。

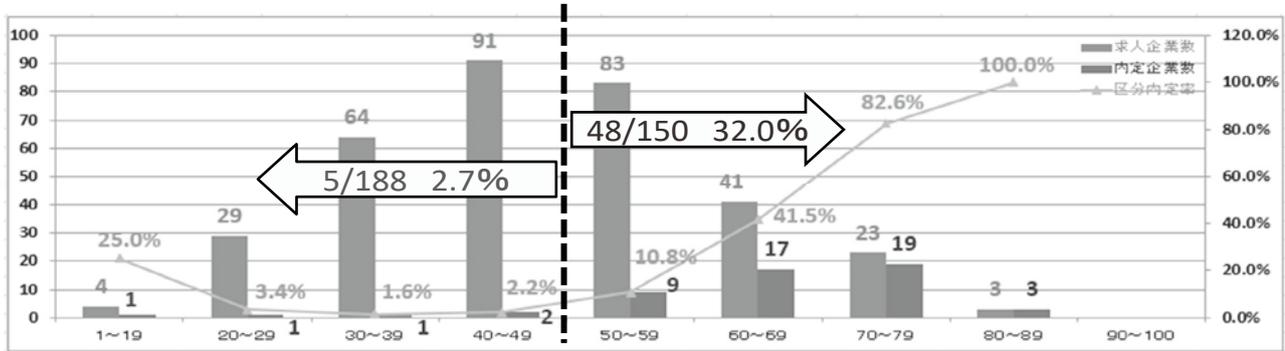


図4 愛知県：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

図5は、企業内学園保有企業の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。求人企業12社の全てが戦闘力60点以上であり、11社：91.7%が応募・内定を獲得しています。企業内学園保有企業の応募・内定獲得における優位性が読み取れます。企業内学園保有企業で1社だけが応募・内定を獲得していませんが、この要因は、他の企業内学園保有企業と比較して“離職率が高い”ことにあったのではないかと推測しています。

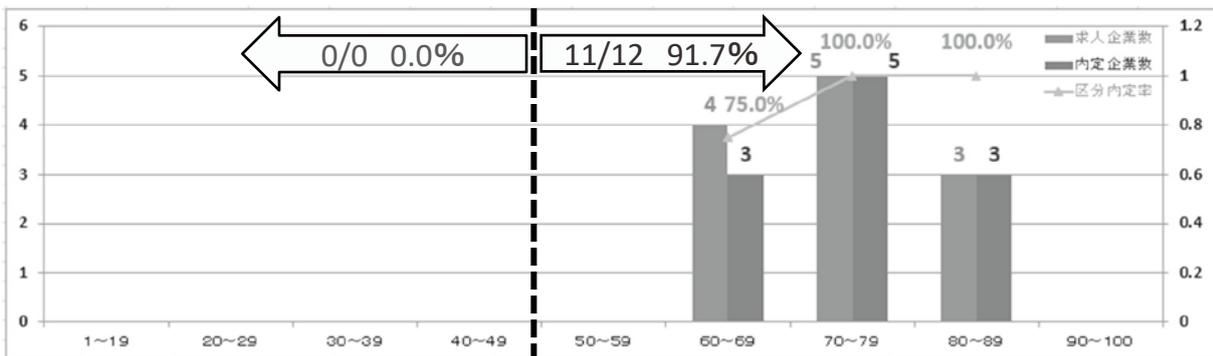


図5 企業内学園保有企業：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

図6は、求人企業全体の令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係です。求人企業全体では、戦闘力50点以上では、求人企業521社のうち116社：22.3%が応募・内定を獲得しており、応募・内定企業159社に占める割合は73.0%と高い値となっています。戦闘力49点以下では、求人企業849社のうち43社：5.1%が応募・内定獲得であり、非常に低い値となっています。応募・内定獲得企業に占める割合も27.0%と低い値となっています。

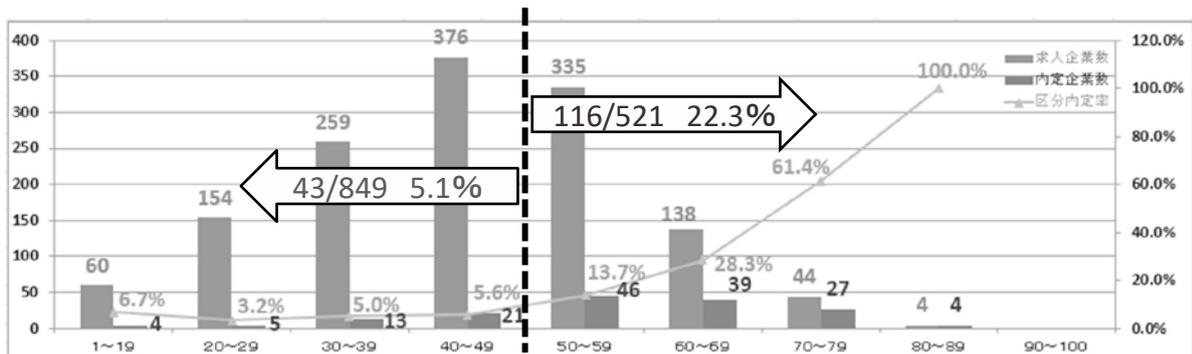


図6 全体：令和2年度の戦闘力区分と応募・内定獲得の関係

以上のように、各地区とも応募・内定獲得を分ける戦闘力の境界は50点となっており、戦闘力区分が高いほど区分の応募・内定獲得率は高くなっています。この“戦闘力と応募・内定獲得の関係”については、令和元年度にも分析結果を、金属団地ニュース2020.8.24発行の551号で「新高卒採用力“戦闘力”を高めて新規高卒を獲得しよう！」と題して紹介させて頂きましたが、令和2年度も全く同じ結果となっています。同2020.9.23発行の552号では、「従業員数49人以下の企業が“戦闘力50点以上”になるには？」と題して対策を紹介していますので、新規高卒採用活動の参考にして頂ければと思います。

生徒達は、求人データベースから就職希望の企業何社かの求人票を印刷して自宅に持ち帰り、保護者と一緒に求人票の記載事項を比較して、より魅力のある企業を受験先として決めていきます。しかし、恐れるに足りず、「敵を知り己を知れば、百戦危うからず。」です。自社の求人情報の見直しを行い、自社の強みの洗い出しをされて、自社への応募・内定獲得に繋げてください。今月号までに金属団地ニュースを通して高校生の就職意識や学校の動向、就職指導情報等を提供させて頂いてきました。過去の金属団地ニュースの記事を参考にして頂ければ幸いです。採用担当者様のご健闘を祈念しています。

今回は、地域産業の担い手育成の取り組みについて思うことを述べさせて頂く予定です。

(文責:各務原市産業活力部商工振興課企業人材全力応援室人材確保相談員 長屋千秋)



ひとやすみ

今月の推し菓子

日経新聞でも取り上げられた「どら焼き」で有名な「梅園茶屋」から「知る人ぞ知る逸品」をご紹介します。

梅園茶屋が贈る夏の逸品：白玉ぜんざい（冷製）

北海道産の厳選した小豆と国産の氷砂糖を使用したこだわりの品。二種類の白玉は、生クリームと抹茶生クリームが包んであります。暑い夏を涼しくしてくれる一品です。

白玉ぜんざい 1個 300円 賞味期限 2日



ご注文はこちらへ！

「梅園茶屋」(金属工業団地組合会館内)

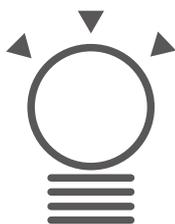
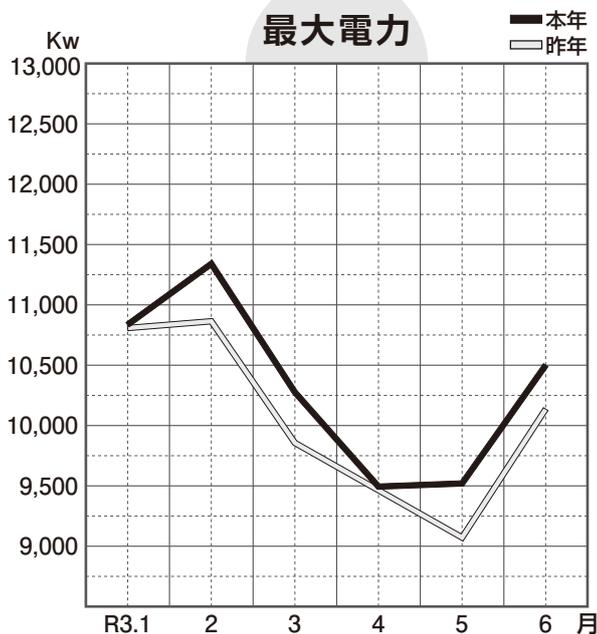
TEL 058-383-7151

FAX 058-383-7131

E-mail : umezonojaya@carrot.ocn.ne.jp



令和3年6月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

PCBの処分期限

安定器及び汚染物等の処分が令和3年3月31日に処分期間が終了しました。続いて高濃度PCBの変圧器・コンデンサが令和4年3月31日となっております。処分期間を過ぎると処分ができなくなります。間に合わない場合の救済措置はあると思いますが罰金を支払うことも考えられるため工場内に保管していないか確認をお願いします。

低濃度PCBは令和9年3月31日までに処分となります。期限は当分先ですが高濃度PCBの最終確認とあわせて進めてください。処分期間ぎりぎりは混み合う恐れがあり費用も割高になるかもしれません。余裕をもって業者の選定、手続きをすることをおすすめします。



行事予定

2021 **7** July

16 金	
17 土	団地G 『組合休日』
18 日	
19 月	月例会(12:00~) 役員会(13:30~)
20 火	
21 水	
22 木	『海の日』
23 金	『スポーツの日』
24 土	『組合休日』
25 日	
26 月	
27 火	編集委員会
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	『組合休日』

2021 **8** August

1 日	
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	『組合休日』
8 日	『山の日』
9 月	『振替休日』
10 火	
11 水	
12 木	『組合休日』
13 金	『組合休日』
14 土	『組合休日』
15 日	



■ 8月の行事予定

8月21日 団地G (取り切り戦)

■ 共同駐車場空き状況 (2021年7月1日現在)

駐車場	資材置場北	喫茶店北	倉庫南	福祉会館東	C棟南
空き数	1	0	0	1	1
駐車場	研修センター東	研修センター南	研修センター西	溶接組合	三井川東
空き数	0	0	0	0	0

※C棟南はC棟入居者用

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

